

法人運営および施設管理
 (平成25年4月1日～平成26年3月31日)

【役員等に関する事項】

平成26年3月31日現在

【評議員 11名】		
評議員	長谷川吉茂	株式会社山形銀行取締役頭取
評議員	寒河江浩二	株式会社山形新聞社代表取締役社長
評議員	本間和夫	山形放送株式会社代表取締役社長
評議員	平井康博	株式会社ヤマコ一代表取締役社長
評議員	広瀬渉	山形県企画振興部長
評議員	斎藤順治	山形市企画調整部長
評議員	大谷駿雄	山形県芸術文化協会会长
評議員	高梨博実	山形県立博物館館長
評議員	酒井忠久	公益財団法人致道博物館館長
評議員	仲野益美	公益財団法人出羽桜美術館代表理事
評議員	高橋まゆみ	日本児童文芸家協会員

【理事 10名】		
代表理事	黒澤洋介	山形新聞グループ経営会議議長
理事	飛塚弘	山形県企画振興部県民文化課長
理事	松田洋一	公益財団法人山形県生涯学習文化財団専務理事
理事	阿部謙一	山形市企画調整部文化振興課長
理事	工藤道汪	山形県美術連盟運営委員長
理事	植松正志	書家・山形県書道連盟常任顧問
理事	阿部直美	山形県写真連盟会長
理事	朝井正夫	株式会社山形新聞社専務取締役
理事	安藤史朗	山形放送株式会社専務取締役
業務執行理事	加藤千明	公益財団法人山形美術館館長

【監事 2名】		
監事	中山眞一	株式会社塙田会計事務所代表取締役社長
監事	長谷川憲治	株式会社きらやか銀行相談役

【顧問 2名】		
顧問	相馬健一	元山形新聞・山形放送会長
顧問	本間利雄	株式会社本間利雄設計事務所代表取締役

【理事会、評議員会に関する事項】

1. 第1回理事会

平成 25 年 6 月 7 日(金)午後 1 時 30 分より山形グランドホテルにて開催した。

◇出席者 理事:黒澤洋介(代表理事)、松田洋一、工藤道汪、植松正志、阿部直美、朝井正夫、安藤史朗、加藤千明(以上 8 名) 監事:中山眞一、長谷川憲治 顧問:本間利雄

[報告]前回理事会(平成 24 年 3 月 12 日)以降の主な運営事業について

[議事の経過の要領およびその結果]

定款により黒澤代表理事が議長に就き、定足数を確認し、審議に入る。

第1号議案 平成 24年度事業報告(案)の件

事務局より平成 24 年度の展覧会や収蔵品などについてスライドを使った説明があったほか、外部からの実習生受け入れ指導、喫茶室やミュージアムショップにおける積極的な収益事業の展開なども報告された。また法人運営と施設管理についての報告があり、理事会・評議員会、また武田吉則評議員の死去に伴う登記の変更、補助金・寄付金の全額受領、外壁の打診検査の実施等について詳細の説明があった。

第2号議案 平成 24 年度決算(案)の件

事務局より平成 24 年度の決算内容について、貸借対照表および正味財産増減計算書とその内訳表ならびに財産目録、財務諸表に対する注記、基本財産および特定資産の明細が示された。固定資産は建物・設備等の減価償却分 31,122,978 円がマイナス、流動資産(現金預金)も期首で 5,969,540 円からのスタートとなり厳しい運営を強いられた。運転資金も不足し退職給付引当金も積立 0 となった。また、公益財団法人に移行後、24 年度に初めて発生した収益事業の利益額の 50%を公益目的事業へ繰り入れする他会計勘定についての説明も加えられた。年間を通じての入場者は前期比 10,000 人ほど増えたものの、高橋由一展などの企画展の経費が膨らみ、当期経常増減額は前期比 -37,464,851 円となったことが示された。

中山監事より、「5 月 31 日に行った監査で事業報告等は法人の状況を正しく示しており、また各計算書類、帳簿類は適正に処理されていることが認められた。」との報告があった。

第3号議案 理事、評議員補充選任候補者(案)の件

事務局より退任や役職変更に伴う理事・評議員退任者の補充選任候補者について、定期評議員会に提案する案件である旨の説明があった。

退任者は理事 1 名、評議員 2 名で補充選任候補として関係職域等からの推薦者が次のように示された。

■理事退任予定者

今野 昇氏(前山形県企画振興部県民文化課長) 以上 1 名

■理事候補者

飛塚 弘氏(山形県企画振興部県民文化課長) 以上 1 名

■評議員退任予定者

園部 稔氏(山形放送株式会社代表取締役社長)

佐竹俊明氏(前山形県立博物館館長) 以上 2 名

■評議員候補者

平井康博氏(株式会社ヤマコー代表取締役社長)

高梨博実氏(山形県立博物館館長) 以上 2 名

第 4 号議案 平成 25 年度定時評議員会開催(案)の件

事務局より、定款に基づき理事会の議決を経て代表理事が招集する、平成 25 年度定時評議員会開催の原案が次のように示された。

日 時 平成 25 年 6 月 24 日(月)午後 3 時より

会 場 山形グランドホテル(山形市本町)3 階「白鳥の間」

議 事 第 1 号議案 議事録署名人選出について

第 2 号議案 平成 24 年度事業報告の件

第 3 号議案 平成 24 年度決算の件

第 4 号議案 理事補充選任(案)の件

第 5 号議案 評議員補充選任(案)の件

その他

以上第 1 号議案から第 4 号議案について原案通り可決承認した。

2. 定時評議員会

平成 25 年 6 月 24 日(月)午後 3 時より山形グランドホテルにて開催した。

◇出席者 評議員:長谷川吉茂(議長)、寒河江浩二、園部稔、本間和夫、大谷駿雄、酒井忠久、高橋まゆみ(以上 7 名) 理事:黒澤洋介(代表理事)、加藤千明(業務執行理事) 監事:中山慎一、長谷川憲治 顧問:相馬健一、本間利雄

[議事の経過の要領およびその結果]

黒澤代表理事が仮議長を務め、定款に基づき議長を互選。長谷川吉茂評議員が議長に就く。

開催要件の過半数である定足数を充足していることを確認し、議案の審議に入った。

第 1 号議案 議事録署名人選出について

大谷評議員が事務局案を求め、寒河江評議員と高橋評議員が提示された。

第2号議案 平成24年度事業報告(案)の件

事務局より平成24年度の展覧会や収蔵品などについてスライドを使った説明があったほか、外部からの実習生受け入れ指導、喫茶室やミュージアムショップにおける積極的な収益事業の展開なども報告された。また法人運営と施設管理については、理事会・評議員会、また武田吉則評議員の死去に伴う登記の変更、補助金・寄付金の全額受領、外壁の打診検査の実施等について詳細の説明があった。

第3号議案 平成24年度決算(案)の件

事務局より平成24年度の決算内容について、貸借対照表および正味財産増減計算書とその内訳表ならびに財産目録、財務諸表に対する注記、基本財産および特定資産の明細が示された。さらに監事の会計監査を受け6月7日開催の第1回理事会において承認を受けたことも報告された。

第4号議案 理事、評議員補充選任(案)の件

事務局より、退任や役職変更に伴う理事・評議員退任者の補充選任候補者について、第1回理事会での推薦者が次のように示された。

■理事退任予定者

今野 昇氏(前山形県企画振興部県民文化課長) 以上1名

■理事候補者

飛塚 弘氏(山形県企画振興部県民文化課長) 以上1名

■評議員退任予定者

園部 稔氏(山形放送株式会社代表取締役社長)

佐竹俊明氏(前山形県立博物館館長) 以上2名

■評議員候補者

平井康博氏(株式会社ヤマコー代表取締役社長)

高梨博実氏(山形県立博物館館長) 以上2名

以上、第1号議案から第4号議案について、原案通り可決承認された。

3. 第2回理事会

平成26年3月17日(月)午後1時30分より山形グランドホテルにて開催した。

◇出席者 理事:黒澤洋介(代表理事)、飛塚弘、松田洋一、阿部謙一、工藤道汪、植松正志、阿部直美、朝井正夫、安藤史朗、加藤千明(業務執行理事)(以上10人) 監事:長谷川憲治
顧問:本間利雄

[議事の経過の要領およびその結果]

定款の規定に基づき、黒澤代表理事が議長に就き、定足数を確認し、審議に入った。

[報告事項]

前回理事会(平成 25 年 6 月 7 日)以降の主な運営事業報告について
事務局より外壁タイル改修工事が無事終了し、山形市に改善報告書を提出し受理された旨、
山形県、山形県生涯学習文化財団、山形市、山形新聞、山形放送からの 25 年度負担金、助
成金、補助金、寄付金等の受領状況など、主な運営事業の説明があった。

第1号議案 基本財産預金の一部処分に関する決議(案)の件

事務局より、平成 26 年度は開館 50 周年の節目を迎えるため、大形展を企画している。年度当初より多額の支払いが予想されるが、50 周年にふさわしい内容にするために事業費の大幅な増は避けられない。あくまでも例外的な措置としてだが、円滑な事業展開と管理運営を図るべく基本財産預金のうち 1,000 万円を取り崩し、運転資金の補填に備えたい旨の提案理由が示された。

黒澤議長は第1号議案について意見を求めたところ、飛塚弘理事より「基本財産預金の取り崩しは今回以降はない」と理解していいのか。」との質問が出された。

この質問を受け、加藤千明業務執行理事・館長より「今回の基本財産預金の一部処分はあくまでも 50 周年記念事業の運営のための例外的な措置であり、来年度以降は収支バランスのとれた企画展を実施していく。ただ、今年度行った外壁タイル改修工事のような突発的な事案が出てきた場合は、理事、評議員のみなさまにご審議いただく場合もある。」との回答があつた。

第2号議案 平成 26 年度事業計画(案)の件

事務局から事業全般の概要説明があり、その後 50 周年記念展を中心に具体的な事業内容についてスライドを使って説明した。

第3号議案 平成 26 年度収支予算(案)の件

事務局より 4 月からの消費税 8%への引き上げにともなう入館料、使用料、維持会会費の取り扱いについての考え方を示した後、正味財産増減予算書と収支予算書の二通りの資料を示しながら、収入総額 1 億 6,363 万円、支出総額 2 億 463 万円(減価償却費含む)の収支内容を説明した。

第4号議案 平成 26 年度資金調達および設備投資の見込みについて(案)の件

事務局より、定款の規定で毎年度の事業開始前日までに理事の承認事項である旨の理由と、26 年度は外部借入及び設備投資も予定していないとの説明があつた。

第5号議案 平成 25 年度臨時評議員会開催(案)の件

事務局より、基本財産預金の一部処分に関する議案を特別決議するために臨時評議員会を

開催する必要がある、との説明があり、定款にもとづき理事会の議決を経て代表理事が招集する原案が次のように示された。

日 時 平成 26 年 3 月 25 日(火)、午後 1 時 30 分

場 所 山形グランドホテル(山形市)「アドリア」

議 題 ・報告事項

- ・基本財産預金の一部処分に関する特別決議(案)の件
- ・その他

以上、第 1 号議案から第 5 号議案について原案通り可決承認された。

7 その他

事務局より、平成 26 年度第 1 回理事会を 6 月 9 日(月)午後 1 時 30 分より山形グランドホテルで開催したい、との日程調整が示された。

4. 臨時評議員会

平成 26 年 3 月 25 日(火)午後 1 時 30 分より、山形グランドホテルにて開催した。

◇出席者 評議員:寒河江浩二、本間和夫、広瀬渉、大谷駿雄(議長)、酒井忠久、仲野益美、高橋まゆみ(以上 7 名) 理事:黒澤洋介(代表理事)、加藤千明(業務執行理事) 監事:中山眞一、長谷川憲治

[報告]

平成 26 年度事業計画および收支予算について

[議事の経過の要領およびその結果]

議長に大谷駿雄評議員を選出。出席評議員は 7 名で開催要件の定足数を満たしていることを確認し、審議に入った。

第 1 号議案 議事録署名人選出について

仲野評議員より事務局案を求められ、酒井評議員と広瀬評議員が提示された。

第 2 号議案 基本財産預金の一部処分に関する特別決議の件

事務協より、平成 26 年度は開館 50 周年の節目を迎、大形展を企画している。年度当初より多額の支払いが予想されるが、50 周年にふさわしい内容にするために事業費の大幅な増は避けられない。あくまでも例外的な措置としてだが、円滑な事業展開と管理運営を図るべく基本財産預金のうち 1,000 万円を取り崩し、運転資金の補填に備えたい。また来年度以降は収支バランスのとれた企画展を実施していきたい旨の提案理由が示された。

以上第 1 号議案から第 2 号議案について原案通り可決承認された。

【登記、許可に関する事項】

月 日	曜	内 容
7月22日	月	山形地方法務局に役員変更にともなう登記を完了、県に電子申請した。

【補助金等に関する事項】

月 日	曜	内 容
4月2日	火	平成25年度の山形県博物館事業共催、25年度事業共催負担金交付申請書（4月1日付）を山形県に提出した。
"		山形市に平成25年度山形美術館運営費補助金交付申請書（4月1日付）、25年度事業名儀後援許可申請書を提出した。
"		平成25年度文化団体等連携支援事業共催、平成25年度支援助成金交付申請書を山形県生涯学習文化財団に提出した。
"		山形新聞と山形放送より、平成24年度運営寄付金（各1,760万円）の交付決定通知書を受理した。
4月3日	水	山形放送より平成25年度の運営寄付金の1回目、440万円を受領した。
4月9日	火	山形新聞社より平成25年度の運営寄付金の1回目、880万円を受領した。
4月17日	水	山形県生涯学習文化財団より平成25年度文化団体等連携支援事業共催および助成金（625万円）交付決定通知を受理した。（4月1日付）
4月19日	金	山形市より平成25年度運営費補助金の交付決定（3,000万円）通知を受理した。（4/16付）同日、文化振興課へ請求書を提出した。
4月26日	金	山形県に平成24年度山形県博物館事業共催負担金実績報告書を提出した。
"		山形県生涯学習文化財団へ平成24年度文化団体等連携支援助成事業実績報告書を提出した。
"		山形市に平成24年度山形美術館運営費事業実績報告書を提出した。
5月9日	木	山形県より平成25年度山形県博物館事業共催承認及び負担金交付についての決定通知を受理した。（4/1付 1,875万円）
5月14日	火	山形県企画振興部県民文化課による平成24年度山形県博物館事業共催負担金実績報告書の実地検査を受けた。
5月29日	水	山形県生涯学習文化財団より平成24年度文化団体等連携支援助成金について額（625万円）の確定通知を受理した。（4月1日付）
5月30日	木	山形市より平成24年度山形美術館運営費補助金について額（3,000万円）の確定通知を受理した。（5月27日付）
6月1日	土	県が出資する法人の基礎的事項、役職員、財務等に関する調査（総務省）のため、決算資料を県教育庁文化財・生涯学習課へ提出した。
6月4日	火	山形県より平成24年度山形県博物館事業共催負担金の額（1,875万円）の確定通知を受理した。（5/30付）
"		山形市より平成25年度山形美術館運営費補助金1,000万円を受領した。（1回目）
7月8日	月	山形県より平成25年度博物館事業共催負担金730万円を受領した。（1回目）
"	月	山形放送より平成25年度の運営寄付金440万円を受領した。（2回目）
7月12日	金	山形県生涯学習文化財団より平成25年度文化団体等連携支援助成金312万5,000円を受領した。（1回目）
9月6日	金	山形市より平成25年度山形美術館運営費補助金1,000万円が交付された。（2回目/9月5日付）

9月30日	水	山形新聞社より平成25年度の運営補助金880万円を受領した。(最終) 本年度受領総額1,760万円
10月10日	木	山形県生涯学習文化財団より平成25年度文化団体等連携支援助成金210万円を受領した。(2回目)
10月15日	火	山形県より平成25年度博物館事業共催負担金670万円を受領した。(2回目)
10月31日	木	山形放送より平成25年度の運営寄付金の440万円を受領した。(3回目)
11月5日	火	山形県と山形市に平成26年度の共催負担金ならびに運営補助金の予算措置願いを提出。
"	火	山形県文化振興課長ほかと今後の運営等について協議する。文化庁の文化芸術創造発信イニシアチブ事業補助金の申請等。
11月7日	木	山形県生涯学習文化財団に平成26年度の助成金措置願いを提出。
12月5日	木	山形市より平成25年度山形美術館運営費補助金の1,000万円が交付された。(最終) 本年度受領額合計3,000万円
1月10日	金	山形県より平成25年度博物館事業共催負担金475円を受領した。(最終) 本年度受領総額1,875万円
"	金	山形県生涯学習文化財団より平成25年度文化団体等連携支援助成金102万5,000円を受領した。(最終) 本年度受領総額625万円
1月31日	金	山形放送より平成25年度の運営寄付金440万円を受領した(最終)。本年度受領総額1,760万円

【運営・管理に関する事項】

月 日	曜	内 容
4月10日	水	山形ビルサービスによる冷却塔の清掃実施。2号機に水漏れ箇所があり、補修。
4月11日	木	山形市より平成25年度4企画展、3県展、収蔵品展の名義後援承認通知書(4月1日付)を受理した。
4月12日	金	外壁タイル改修工事に関して株式会社安藤・間に註文書を、本間利雄設計事務所に監修業務委託書を提出、それぞれ請書と業務受託書を受理する。
4月19日	金	山形新聞社と来年度の50周年事業に関する打ち合わせ会を実施。記念誌、企画展等について寒河江事業部長、報道部文化欄担当小関主任ほかと協議。
5月8日	水	館電話の主装置(富士通1996年製)が経年による故障で不通となる。電話1回線とファックス回線のみNTT直結で復旧。部品調達も不可能につき更新することにした。
5月15日	水	館電話の主装置を更新。多機能電話6台、単独電話5台も同時更新した。(武田電設)
5月18日	土	茶道裏千家淡交会東北地区大会の記念茶会が開催され、2日間で1,800人が来館し茶席を愉しみた。長谷川コレクションや吉野石膏コレクションなどの常設展も300人を超す来展者でぎわった。
5月28日	火	第68回県美展の運営委員会が山形メディアタワーで開かれ、加藤館長と大沼事務局長が出席した。会期を8月31日(土)から9月16日(月)までとすることをはじめ、出品規定、審査員などについて確認した。
5月31日	金	中山眞一、長谷川憲治両監事より、平成24年度の監査を受けた。
6月7日	金	安藤・間、本間利雄設計事務所と外壁タイル工事の工程等についての打ち合わせを実施した。足場の設置や通路の確保など安全面対策等についての確認をした。
6月11日	火	山形県書道展の運営委員会が開かれ、日程、審査員、応募規定などを確認した。
6月13日	木	外壁タイル改修工事が本日より始まった。足場の固定のためのアンカー打ち作業で音が出る。同時につつじ生垣の刈り込みも行った。(岡崎造園)

6月18日	火	山形県県民文化課担当者による、館施設の改修および更新が必要とされる箇所の実地検分が行われた。加藤館長、大沼事務局長、監視室木村氏が同行し細部にわたって確認した。
6月20日	木	この日より、冷温水発生器を冷房に切り替えた。
6月26日	水	村山地方合同庁舎建設総務課へウッドワン美術館展期間中の駐車場確保のため「ふれあい広場」の借用申請を提出。
7月10日	水	山形税務署と山形青色申告会にウッドワン美術館展期間中の駐車場（休日）の借用を依頼した。
7月15日	月	第38回山形県総合書道展の実務分担会議を開催し、搬入受付、審査等に関して細部の確認が行われた。約70人が出席。
7月17日	水	第68回山形県総合美術展覧会の事務局会議が開かれ、加藤館長と大沼事務局長が出席した。
7月18日	木	昨夜から降り続いた大雨で、別館エレベータ前天井より雨漏れ。安藤・間の加藤氏に来てもらう。屋上のエレベータ機械室建屋周りからの漏水らしく調査、修理見積を依頼。
7月22日	月	2階休憩室ならびに彫刻展示室のバルコニーへ出るドア、1階喫茶室のパントリー出入り口のドアの不具合を調整。確実に閉まるようになった。また、別館への渡り廊下の手すりが1カ所溶接切れで危険なため修理。（安藤・間へ手配）
7月30日	火	二次温水ポンプフート弁に不具合が生じ、弁が閉まらず機能しなくなった。黒澤建設工業に修理を依頼。調査の結果、弁ゴムが伸びて弁本体にひっかかり閉まらなくなっていた。弁ゴムの長さを調整して再取り付け。同時にL字管のパッキンも劣化していたため交換。
8月2日	金	山形ビルサービスより消防設備点検時に指摘のあった、誘導灯内蔵バッテリーの交換を依頼した。
8月4日	日	午後12時28分、宮城県沖を震源とする地震発生（石巻：震度5強）。幸い山形市内は震度2。施設、展示品等への影響はなかった。
8月27日	火	村山地方合同庁舎建設総務課へウッドワン美術館展期間中借用した「ふれあい広場」の使用完了届を提出し鍵も返却した。
〃	火	本間設計事務所佐々木氏、安藤・間の岡崎所長、担当加藤氏と残工事についての打合せをする。
9月21日	土	山形県総合書道展が開幕した。期間中1,780人が来館。
9月24日	火	黒澤建設工業に空調機器の経年劣化状況を調査を依頼。製造元の東洋製作所より2名、黒澤建設工業より1名来館、細部にわたり検分する。
9月29日	日	山形県総合書道展授賞式を行った。
10月22日	火	11月からの館内暖房切換に先立ち、温水ポンプのフート弁のパッキン点検交換を依頼した（黒澤建設工業）。フート弁に不具合が生じると、空運転となりポンプが破損する。
10月27日	日	別館エレベータ機械室近辺から再び水漏れ。天井以外のところからの漏水の模様。安藤建設に調査を依頼。山建工業さんに来てもらう。
11月7日	木	別館、吉野コレクション室の室温が下がってきたので暖房を間歇運転。（別館14℃、吉野16℃）
11月11日	月	温水ポンプのフート弁のパッキン点検交換を実施した。（黒澤建設工業）
11月12日	火	山形商工会議所花谷氏より、2014年1月号からの商工月報の表紙に山形美術館収蔵の作品を使用したいと申し入れあり。承諾。1月号は葛飾北斎の赤富士を推薦。
11月13日	水	読売書法会祝賀会に参加後來館の71歳女性（岩手県宮古市在住）、気分が悪くなり救急車要請。同行者付き添いで済生館に搬送。祝賀会での飲酒によるものと思われる。
〃	水	23:23 2階展示室（吉野コレ）異常感知。山形警備保障と警察官10名が検索するも異常なし。23:56 復旧（警備報告書より）
11月14日	木	夜、地下温水蓄熱槽の電極棒に異常があり警報鳴動。月本主任が連絡対応。15日YBS担当者来館し整備・復旧。しばらく様子を見ることとした。
11月27日	水	館まわりの生垣、立木の雪囲い終了（岡崎造園）
12月2日	月	喫茶室厨房内シンクの排水管の水漏れ工事を行った。（黒澤建設工業）

12月9日	月	冬場は午後になると南側からの直射日光が2階ロビー窓より展示室の奥まで差し込み、作品に影響があるためカーテンを遮光性のものに交換した。（山新建装）
-------	---	--

【平成26年】

1月8日	水	喫茶室厨房内汚水栓の鉄製蓋が老朽化し危険、さらに臭気が漏れ不衛生なため新しいものに交換した。
1月20日	月	非常用予備発電装置のエンジン整備ならびに始動用蓄電池の更新をした。（YBS）
1月21日	火	1/20に山形県よりノロウイルス食中毒注意報が発令されたのを受け、喫茶室に従事するスタッフに手洗いや食器の衛生管理の徹底を指示した。
1月23日	木	建築基準法に基づく建築設備定期報告書を山形市まちづくり推進部建築指導課へ提出した。
1月29日	水	山形市より平成24年3月29日付建指第1013号で改善指示が出されていた、「外壁タイルの浮きおよび破損箇所の改善」について、建築指導課に特殊建築物改善報告書を提出し、受理された。
2月4日	火	来年度の国宝・重文の展示を前に、温湿度管理の設備について関連業者と実況検分した。（本間利雄設計事務所、アズビル株、黒澤建設工業）
2月7日	金	来年度の国宝・重文の展示を前に、山形市消防本部に消防関係の意見書提出を依頼し、立入検査が行われた。（山形市消防本部より2名）同日付で防火管理状況、消防設備の維持管理等4項目について支障なしとの意見書を受理した。
2月10日	月	1階女子トイレ内洗面台の腐食して水漏れをおこした排水管を交換修理。（黒澤建設工業）
2月20日	木	平成25年度文化庁の支援事業として山形美術館の英語版パンフレットを作成した。
3月17日	月	平成25年度第2回理事会が開催され、基本財産預金の一部処分案、平成26年度事業計画案及び収支予算案などについて承認された。
3月23日	日	山形県写真展の授賞式が行われた。
3月24日	月	来年度の国宝や重文の展示にともなう、展示室内温湿度センサーの移設・増設工事を行った。（本間設計事務所・黒澤建設工業）
3月25日	火	平成25年度臨時評議員会が開催され、「基本財産預金の一部処分」についての特別決議が行われ可決承認された。
3月29日	土	1階会議室の壁クロス張替え工事を行った。（山新建装）

【平成25年度 維持会員入会状況】

平成25年4月1日～平成26年3月31日

単位:口

	25年度	24年度	増減	過去最多	
法人会員	68	69	-1	103	(平成2・3年)
特別会員	23	29	-6	98	(平成6年)
普通会員	421	483	-62	779	(平成3・4年)
学生会員	6	2	4	96	(平成元年)

(注) 法人会員は年間一口5万円(特典:1口につき優待券10枚)

特別会員は年間一口7千円(特典:同伴者3名入館可)

普通会員は年間一口5千円(特典:同伴者1名入館可)

学生会員は年間一口2千円(本人のみ入館可)